



# 学校だより

令和4年8月30日

No. 6 9月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## 一日一日を大切に

校長 金子 博美

この夏は、「3年ぶり」という言葉を様々な場面で耳にしました。少しでも前に進むために動き出そうとする流れを感じます。

8月29日（月）から、夏休み明けの授業が始まりました。正門で子どもたちを迎えていると、「夏休みの間に私のお花が咲いたよ」「みんなに会えるの、久しぶり！」など、笑顔で元気に登校する子どもたちの様子が見られました。やはり、子どもたちあつての学校。明るい子どもの声が戻ってきたことのうれしさを実感しました。その後、テレビ放送で全校朝会を行い、放送室から「みなさん、おはようございます！」と言うと、放送室に近い教室にいる2年生から、それにこたえる元気な挨拶の声が聞こえてきました。

朝会では、前期後半をスタートするにあたって子どもたちに次のような話をしました。

〈校長先生から、大切なみなさんへのお願い〉

- 元気に登校する
- 様々な学習や活動に取り組む
- 友達と楽しく遊ぶ
- 給食をおいしくいただく
- 笑顔で下校する

感染症への警戒は今後も続いていくことと思われます。学校においては、感染予防対策を続けるとともに、この状況下でいかに有意義な活動を継続していくか、より慎重に考えながら進めていくことが求められています。この「大切なみなさんへのお願い」は、職員一同の切なる思いです。朝会での話の最後に、「ぜひ、このことを忘れずに、一日一日を大切に過ごしてください」と画面の向こうにいる子どもたち一人ひとりに届くよう呼びかけました。

子どもたちは毎日決まった時間に登校して一日の大半を学校で過ごし、明日の様々なことを確認して、「また明日ね」と下校していきます。この何気ない毎日の繰り返しが単なる規則正しい生活を築くことにとどまらず、一人ひとりの内面に深くかかわり、健やかでたくましい心の育成にかかわっているということを、これまでの臨時休業や分散登校等の経験を経て、改めて実感しているところです。みんなと一緒に楽しむことができる学校生活には自尊感情や自己肯定感が自然に育っていくという効用があることを信じて、子どもたちの「日常」を大切に守っていきたいと思っています。

31日（水）からは、給食も始まり、本格的にスタートです。感染症防止対策と暑さ対策の両立に努めつつ、子どもたちにとってかけがえのない毎日の継続を第一に考え、今後の教育活動を進めていきたいと考えています。

10/29（土）【予備日 10/30（日）】に予定している「西リンピック2022 ～思い出祭～（運動会）」は、現段階では、午前中を学年によって3ブロックに分けて実施する予定です。感染症対策を考慮し制限のある中での実施となりますが、子どもたちが楽しく、安心して取り組むことができるように内容等を工夫して計画・実行してまいります。今後の感染状況によっては延期や変更等せざるを得ない場合もあります。これまでの教育活動と同様に、様々な状況を想定しながら対応していきたいと考えていますので、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。